

4月29日にニューヨーク市のデブラシオ市長は「トンネルの先に光が見える」と7月1日からの経済活動の完全再開の見通しを表明した。1年前の4月にはNY市は感染爆発に見舞われ、悲惨な状況であったことを思えば、地獄からの劇的な復活であり、アメリカの底力を感じさせる。

ニューヨーク州 (NYS) は面積でいうと北海道と九州を合わせた程の広さで、人口は東京都と埼玉県の人を合わせた2,000万人程である(島田、2020)。NYSは感染第1波が非常に大きく、2020年3月22日から11週間ニューヨーク市 (NYC)がロックダウンされ、NYは新型コロナウイルス感染の世界的中心地となった。4月に第1波のピークを迎え、6月に入ってからNYSの感染爆発は沈静化した。アメリカの他のほとんどの地域では第2波&第3波に見舞われたが、NYSの感染第2波は11月以降にやってきた(雑梓程 et al., 2021)。第2波は2021年1月にピークを迎え、第2波の感染者数は第1波を超えたが、幸いワクチン接種が迅速に進んで4月には沈静化している。

一方、東京での感染状況は2020年4・5月に感染第1波、7～9月に第2波、11月～2021年2月に第3波、4月以降第4波が起き、2020年4月7日に第1回緊急事態宣言(～5月25日)、2021年1月7日に第2回緊急事態宣言(～3月21日)、4月25日に第3回緊急事態宣言が出されている。感染爆発は起きておらず、死亡者数も多くはないが、東京ではだらだらと感染が続き、検査数が少ないため感染状況の実態は分からない。先進国を中心にワクチン接種が進む中、日本はワクチン接種でも大幅に遅れをとっている。

図1は2020年3月から2021年4月までのニューヨーク市 (NYC)と東京都の累積感染者数(千人)を比較したものである(注)。NYCの人口は830万人で、累積感染者数は93万人(累積死亡者数は3.2万人)である。一方、東京都の人口は1,400万人で、累積感染者数は14万人(累積死亡者数は1.9千人)である。NYCでは2020年3・4月に感染者数が急増し、2020年11月以降感染が再拡大したことがよく分かる。東京都の感染者数はNYCに比べてほぼ1桁少なく、第3波以降感染者が大きく増えていることが分かる。

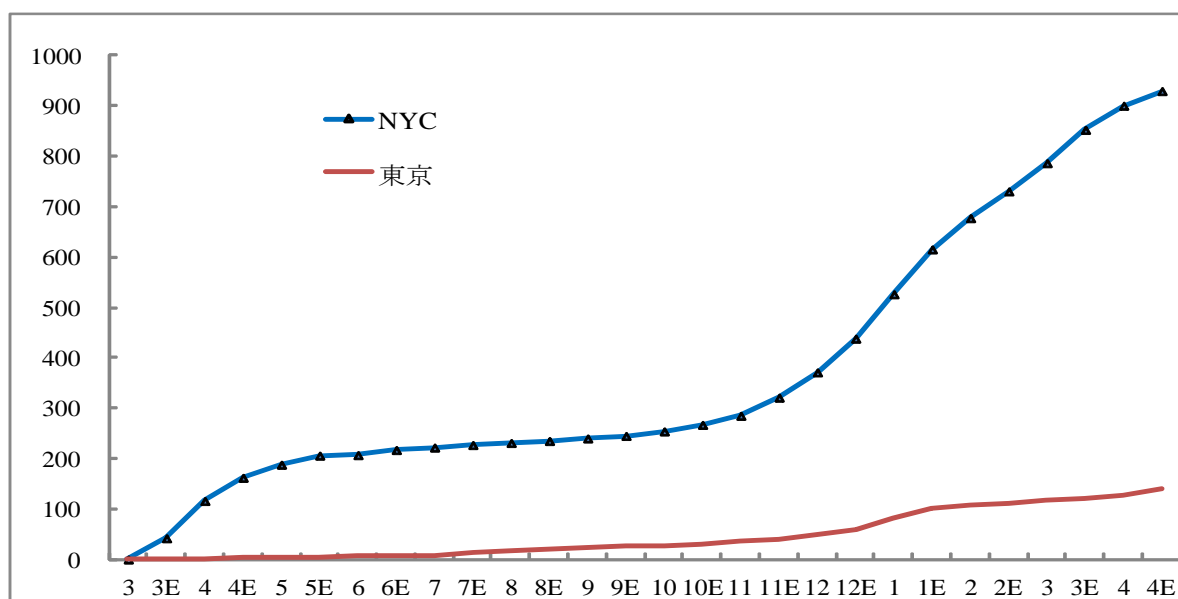
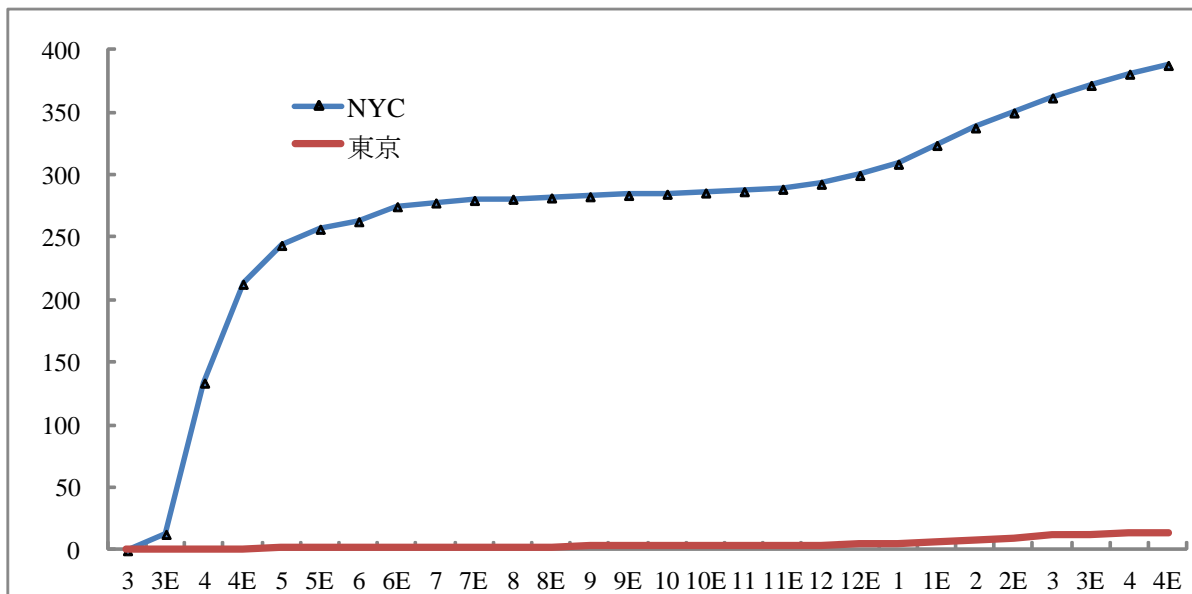


図2は2020年3月から2021年4月までのNYCと東京都の累積死者数(人口10万人当たり)を比較したものである。東京では感染爆発が起きていないため、2021年4月末の人口10万人当たり累積死者数は14人で、NYCのほぼ1/30である。



注：横軸は各月の15日（無印）と月末（E）を示す。

出所：CDC COVID Data Tracker 及び東京都新型コロナウイルス対策サイト

図2 NYC市及び東京都における新型コロナウイルス累積死者数(人口10万人当たり)：2020年3月～2021年4月

2020年3月から6月までにNYSが取り組んだ主な対策は、①検査数を増やすこと、②人の密度を減らすこと、③医療システムの能力を強化することであり、これらの対策によって新型コロナ感染の抑制に顕著な効果が得られたと考えられる(雫梓程 et al., 2021)。NYSでは感染拡大が始まった早い時期からPCR検査数を州知事の主導で増やし、段階的に経済的活動を再開するに当たっては、新規入院患者数が人口10万人当たり2人未満であること、1日の死者数が5人以下であること、全ベッドの少なくとも30%が常に利用可能なこと、など7つの基準に基づいて対策を決定してきた(島田、2020)。

PCR検査数を増やすことによって初めて正確な現状把握ができ、データと科学的根拠に基づいた政策決定が可能になる(島田、2020)。しかしながら、このパンデミックが起きてから1年以上が経過する中で、日本ではこの間にPCR検査も不十分、国産ワクチンも開発されず、ワクチンの確保にも後れをとり、医療システムの能力を強化することもままならず、未だに国民に行動自粛を呼びかけるばかりである。科学に誠実に向き合い、データに基づいた効果的な政策を打ち出せば、感染第1波でみられたように日本国民は喜んで協力するであろう。NYと東京を比べて一番の違いは「国民の命と財産をなんとしても守るという気迫」の違いである。1月29日のNYでの講演でAファウチ博士は①アメリカの感染はピークを過ぎた、②Johnson & Johnsonのワクチンがゲームチェンジャーになる、と発言した。この内容をこのタイミングで言ってくれる人を求める権利が日本人にもあると思う。

(注) データの都合で東京都とNYCを比較した。NYSの値はNYCの2倍強である。なお、人口や面積においてNYCは東京23区とほぼ似ている。

文献

島田悠一 (2020). ニューヨーク州のPCR検査の現状、日本医師会 COVID-19 有識者会議 (2020.8).
 雫梓程 et al. (2021). ニューヨーク州における新型コロナウイルス感染症の現状と対策、RPSPP Discussion Paper No. 43 (2021.4).